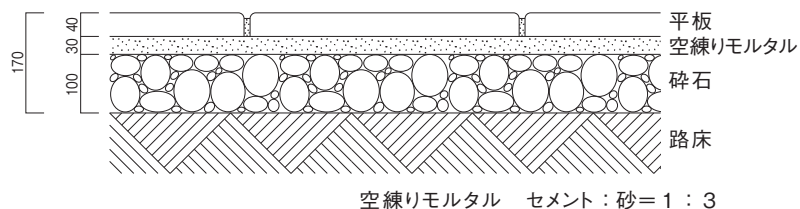


ブラッドストーン平板・マドック参考施工方法

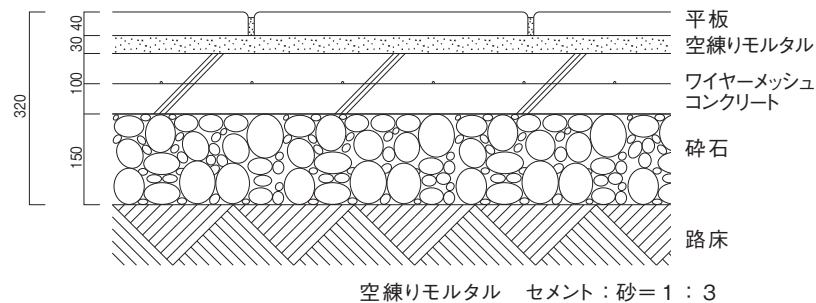
■ 一般舗道部・アプローチ部

- ① 土を掘りおこし、砕石を 100 ㎜厚で充分転圧します。
- ② 砕石の上に空練りモルタルを 30 ㎜程度の厚みで敷き、その上に平板を敷設します。
- ③ 平板の目地部分に目地材を詰めていきます。



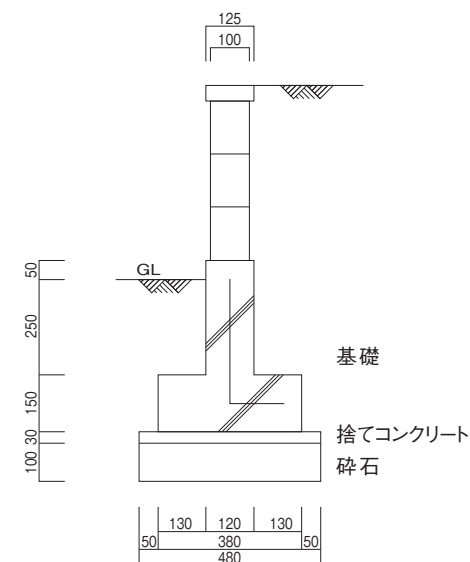
■ 普通駐車場部

- ① 土を掘りおこし、砕石を 150 ㎜厚で充分転圧します。
- ② 砕石の上にコンクリートを 100 ㎜厚で打ち込みます。
- ③ ワイヤーマッシュをコンクリートの中に敷設します。
- ④ コンクリート下地の上に空練りモルタルを 30 ㎜程度の厚みで敷きその上に平板を敷設します。
- ⑤ 平板の目地部分に目地材を詰めていきます。



■ マドック Z 型ブロック

- ① 土を掘りおこし、砕石を 100 ㎜厚で充分転圧します。
- ② 砕石の上に捨てコンクリートを 30 ㎜程度の厚みで敷きその上に基礎をつくります。
- ③ 基礎の上にマドック Z 型ブロックを積み上げていきます。
- ④ 積み上げ部の接合部分は目地用モルタルまたはブロック用接着剤を使用します。
- ⑤ 鉄筋が入らない形状のため、直線時には積段数は 3 ～ 4 段程度となります。



注意事項

■ 白華 (エフロレッセンス)

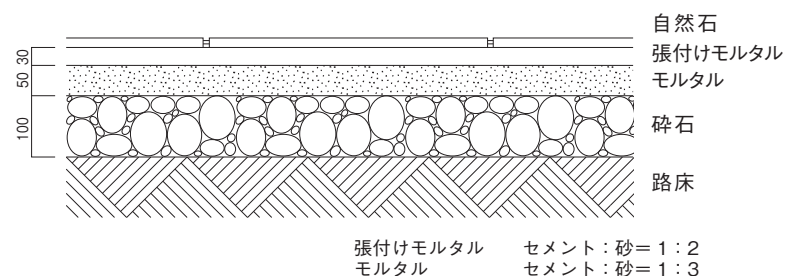
白華はコンクリート製品には起こりうる自然現象で、製品の性能を低下させるものではありません。期間限定はできませんが白華現象は通常時間経過とともに消えていきます。気になる場合は白華除去剤の使用をお勧めします。製品の変色防止のため説明書をよく読んで、目立たない場所でテストしてから使用してください。

NATURAL STONES

自然石平板参考施工方法

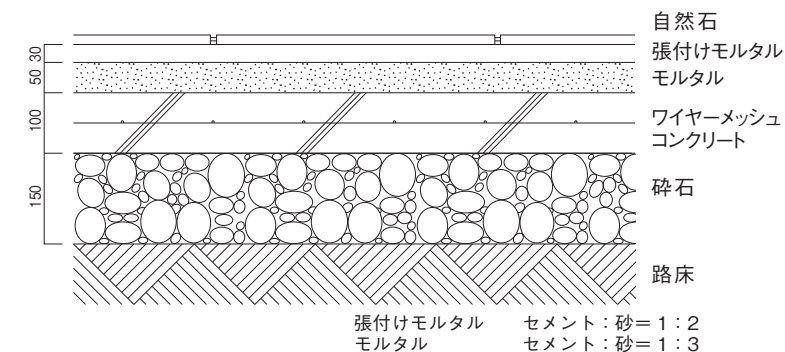
■ 一般舗道部・アプローチ部

- ① 土を掘りおこし、砕石を 100 ㎜厚で充分転圧します。
- ② 砕石の上にモルタルを 50 ㎜程度の厚さで敷きその上に張付けモルタルで自然石を敷設します。
- ③ 自然石の目地部分に目地材を詰めていきます。



■ 普通駐車場部

- ① 土を掘りおこし、砕石を 150 ㎜厚で充分転圧します。
- ② 砕石の上にコンクリートを 100 ㎜厚で打ち込みます。
- ③ ワイヤーマッシュをコンクリートの中に敷設します。
- ④ コンクリート下地の上にモルタルを 50 ㎜程度の厚みで敷きその上に張付けモルタルで自然石を敷設します。
- ⑤ 自然石の目地部分に目地材を詰めていきます。



自然石注意事項

■ パラストーン

- ① 自然石のため、色合い、模様、厚み、大きさにばらつきがあります。
- ② 施工前には仮置きし、大きさ、色のバランスをご確認ください。
- ③ 施工目地幅や施工方法による材料ロスを見込んでの数量としてください。
- ④ 目地幅は洋風張りの 30～40 ㎜（石が大きめのφは 40～50 ㎜程度）を標準としておりますので、和風張り（10～20 ㎜）の場合は使用量が 20～30% 増えます。
- ⑤ 施工後、経年変化による変色、退色がありますので、ご注意ください。
施工前にコーティング剤の使用をお勧めします。湿気や白華、防汚効果が得られます。
- ⑥ ホワイト系石材をモルタルで施工する場合、セメントはホワイトセメント 砂は白色珪砂を使用してください。また水は水道水を使用してください。

■ デジャストーン

- ① 自然石を手作業で加工しているため、色合い、模様、厚み、大きさにばらつきがあります。
- ② 施工前には仮置きし、大きさ、色のバランスをご確認ください。
- ③ ホワイト系石材をモルタルで施工する場合、セメントはホワイトセメント 砂は白色珪砂を使用してください。また水は水道水を使用してください。
- ④ 施工後、経年変化による変色、退色がありますので、ご注意ください。
施工前にコーティング剤の使用をお勧めします。湿気や白華、防汚効果が得られます。

※デジャストーンの断面は船底形になっております。施工時、表面・裏面にご注意下さい。

デジャ・ストーン断面図

